写真管理基準

1. 総則

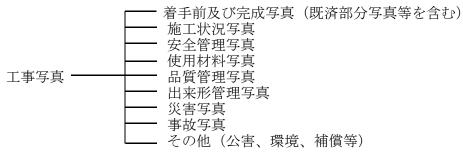
1-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理(デジタルカメラを使用した撮影~提出)に適用する。

また、写真を映像と読み替えることも可とする。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点(位置)
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」<u>(国土交通省)</u>に規定する写真情報(写真管理項目-施工管理値)に必要事項を記入し、整理する。

また、特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」(国土交通省)による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。 また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」(国土交通省)による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

写真管理基準

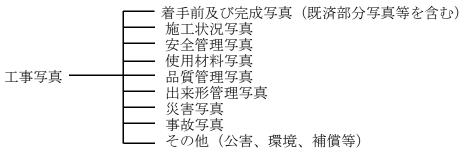
1. 総則

1-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理(デジタルカメラを使用した撮影~提出)に適用する。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点 (位置)
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報(写真管理項目-施工管理値)に必要事項を記入し、整理する。

また、特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 情報化施工

「TS を用いた出来形管理要領(土木偏)」 (平成 24 年 3 月 29 日付け国官技 347 号、国総公第 85 号) による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は同要領の規定による。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。<u>ただし、『デジタル工事写真の小</u> <u>黒板情報電子化について』(平成 29 年 1 月 30 日付け、国技建管第 10 号)に基づ</u> <u>く小黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。</u>

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黒板の文字が判読できることを指標とする。
- (100 万画素程度~300 万画素程度=1,200×900 程度~2,000×1,500 程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4)フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps 程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督職員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-7 留意事項

撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図(撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など)を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1)写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黒板の文字が判読できることを指標とする。 <u>縦横比は3:4 程度とする。</u> (100 万画素程度~300 万画素程度=1,200×900 程度~2,000×1,500 程度)

2-7 留意事項

撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図(撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など)を参考図として作成する。
- (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

神奈川県 土木工事写真管理基準(令和4年4月版)	神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)	摘要
3. 整理提出 撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納 し、監督員に提出するものとする。 写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法(各種仕様)は「デジタル写真管 理情報基準」 <u>(国土交通省)</u> に基づくものとする。	3. 整理提出 撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納 し、監督員に提出するものとする。 写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法(各種仕様)は「デジタル写真管 理情報基準」に基づくものとする。	
4.その他 撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義 (1) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。 (2) フィルムカメラを使用した撮影へ提出とする場合は、「神奈川県土木工事写真管理基準 平成 28 年 4 月」を参考に監督員と提出頻度等を協議の上、取扱いを定めるものとする。	4.その他 撮影簡所一覧表の整理条件の用語の定義 (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。 (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。 (3) 不要とは、デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」に該当しないことをいう。	

撮影箇所一覧表(全体)

	14X 4V	E 77	(— PT-7	
区	分		管理項目 	摘要
	1	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分	着手前1回	
	本 よ	写真 全景又は代表部分	〔着手前〕	
	完成	生原又は代表部分 写真	施工完了後1回 〔完成後〕	
施工状況	工事施工中	 子具 全景又は代表部分	月1回	履行報告書に
//E4/\1/L		の工事進捗状況	[月末]	添付
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図	19// 1
			書、施工計画書に従い	
			施工していることが確	
			認できるように適宜	
			〔施工中〕	
			創意工夫・社会性等に	創意工夫・社会性等に関する実施
			関する実施状況が確認	状況の提出資料に添付
			できるように適宜	
			〔施工中〕	
	仮設(指定仮	使用材料、仮設状	1施工箇所に1回	
	設)	況、形状寸法	[施工前後]	
	図面との不一	図面と現地との不	必要に応じて	工事打合簿に
	致	一致の写真	<u>〔発生時〕</u>	添付する。
			ただし、「3次元計測 技術を用いた出来形	
			管理要領(案)にお	
			ける空中写真測量	
			(UAV)」による場	
			合は、撮影毎に1回	
			(写真測量に使用し	
			たすべての画像	
			<u>(ICON フォルダに格</u>	
			<u>納))</u>	
			<u>〔発生時〕</u>	
			ただし、「3次元計測	
			技術を用いた出来形	
			管理要領(案)にお	
			<u>ける地上型レーザー</u> スキャナ (TLS)、	
			地上移動体搭載型レ	
			<u>地工材助件拾載生レ</u> ーザースキャナー	
			(地上移動体搭載型	
			LS)、無人航空機搭	
			載型レーザースキャ	
			ナー(UAVレーザ	
			<u>ー)、TS(ノンプリ</u>	
			ズム方式)、TS等光	
			波方式、RTK-G	
			NSS」による場合	
			は、計測毎に1回	
			<u>〔発生時〕</u>	
			<u> </u>	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

撮影箇所一覧表(全体)

□ 7	/\		写真管理項目		按 亜
区	分	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	摘要
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分	着手前1回	着手前	
		写真	〔着手前〕	<u>1枚</u>	
	完成	全景又は代表部分	施工完了後1回	施工完了後	
		写真	〔完成後〕	<u>1枚</u>	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分	月1回	不要	履行報告書に
		の工事進捗状況	〔月末〕		添付
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図	適宜	
			書、施工計画書に従い		
			施工していることが確		
			認できるように適宜		
			〔施工中〕		
			創意工夫・社会性等に	<u>不要</u>	創意工夫・社会性等に関する実施状
			関する実施状況が確認		況の提出資料に添付
			できるように適宜		
			〔施工中〕		
	仮設(指定仮	使用材料、仮設状	1 施工箇所に1回	代表箇所	
	設)	況、形状寸法	〔施工前後〕	<u>1枚</u>	
	図面との不一	図面と現地との不	必要に応じて	<u>不要</u>	工事打合簿に
	致	一致の写真			添付する。

撮影箇所一覧表(品質管理)

		1		
番号	工種	写真管理工		摘要
	· ·	撮影項目	撮影頻度[時期]	•
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に 1回「試験実施中」ただし、「TS・GNSSを用いた盛 土の締固め管理要領」に よる場合は、写真管理を 省略する	
		プルーフローリング	路床毎に1回 [試験実施中]	
		平板載荷試験	_	
		現場CBR試験		
		含水比試験	降雨後又は含水比の変 化が認められた場合 [試験実施中]	
		たわみ量	プルーフローリングの不良個所 について実施 [試験実施中]	
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変 化が認められた場合 [試験実施中]	
		現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用 いた盛十の締固め管理要 領」による場合は、写真管 理を省略する	
		プルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]	
		平板載荷試験	材質毎に1回	
		現場CBR試験	[試験実施中]	
		たわみ量	プルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]	
		~~~ 中略	$\sim\sim\sim$	
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用 いた盛土の締固め管理要 領」による場合は、写真管 理を省略する	
	'	~~~ 中略	~~~	
18 19	河川•海岸土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用 いた盛土の締固め管理要 領」による場合は、写真管 理を省略する	
		土の含水比試験	含水比に変化が認められ た場合 [試験実施中]	
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]	

# 撮影箇所一覧表(品質管理)

番号   工権   撮影項目   撮影項度   時期   提出頻度   接影項目   現場密度の測定   万ルーフローリング   平板載筒試験   現場密度配談験   含水比試験   降雨後又は含水比の変 (化が認められた場合 [試験実施中]   たわみ量   ブルーフローリング の不良個所 について実施   記験実施中   現場密度の測定   材質毎に1回   試験実施中	亚口	工任				摘要
プルーフローリング	番号	上.種	撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	<b>個安</b>
平板載荷試験   現場CBR試験   降雨後又は含水比の変化が認められた場合	11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床毎に1回		
現場CBR試験			プルーフローリング	[試験実施中]		
含水比試験   降雨後又は含水比の変化が認められた場合			平板載荷試験			
化が認められた場合 [試験実施中]   たわみ量			現場CBR試験			
(北が認められた場合			含水比試験	降雨後又は含水比の変	不更	
たわみ量					<u>11.8</u>	
について実施				[試験実施中]		
「試験実施中			たわみ量	プルーフローリングの不良個所		
2   表層安定処理工 (表層混合処理)   含水比試験						
(表層混合処理)						
「試験実施中]	12		含水比試験			
現場密度の測定   材質毎に1回		(表僧混合処埋) 				
「試験実施中]			担担家産の測定			
プルーフローリング   工種毎に1回			元物伍及V/例足			
Table   Ta			プルーフローリング			
現場CBR試験       [試験実施中]         たわみ量       プルーフローリングの不良個所について実施[試験実施中]         ~~~ 中略 ~~~       十質毎に1回[試験実施中]         ~~~ 中略 ~~~       本要         18       河川・海岸土工 (施工)         現場密度の測定       土質毎に1回[試験実施中]         上の含水比試験       含水比に変化が認められた場合[試験実施中]         コーン指数の測定       トラフィカビリティが悪い場合					<u>不要</u>	
たわみ量			平板載荷試験	材質毎に1回		
について実施			現場CBR試験	[試験実施中]		
「試験実施中]			たわみ量			
~~~       中略 ~~~         15       補強土壁工       現場密度の測定       土質毎に1回 [試験実施中]         ~~~       中略 ~~~         18       河川・海岸土工 (施工)       現場密度の測定       土質毎に1回 [試験実施中]         土の含水比試験       含水比に変化が認められた場合 [試験実施中]         コーン指数の測定       トラフィカビリティが悪い場合						
15 補強土壁工 現場密度の測定 土質毎に1回 不要						
[試験実施中]		10-0 1 00-0		, ,,		
	15	補強土壁工	現場密度の測定		不要	
18			2,2,2,			
19 (施工)	10	河川,海巴上丁		1 - 6		
土の含水比試験						
た場合 [試験実施中] コーン指数の測定 トラフィカビリティが悪い場合		()E1.)				
た場合 [試験実施中] コーン指数の測定 トラフィカビリティが悪い場合			+の今水比討騒			
[試験実施中] コーン指数の測定 トラフィカビリティが悪い場合			ユーマンログトレロ・マック		不 曲	
コーン指数の測定 トラフィカビリティが悪い場合					<u>小安</u>	
			コンド粉の測字			
			ユーノ拍数の側に	1		

番号	工 括	写真管理巧	協画	
番 万	工種	撮影項目	撮影頻度 [時期]	摘要
20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回	
			[試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた	
			盛土の締固め管理要領」によ	
			る場合は、写真管理を省略す	
21	道路土工	現場密度の測定	<u>る</u> 土質毎に1回	
21	連岭ユユ (施工)		工員毋に1凹 [試験実施中]	
	(//2/		ただし、「TS・GNSSを用いた	
			盛土の締固め管理要領」によ	
			る場合は、写真管理を省略す ろ	
		プルーフローリング	工種毎に1回	
			[試験実施中]	
		平板載荷試験	土質毎に1回	
		現場CBR試験	[試験実施中]	
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が	
			認められた場合	
			[試験実施中]	
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合	
			[試験実施中]	
		たわみ量	プルーフローリングの不良個所につ	
			いて実施	
			[試験実施中]	
		1 54	~~~	
25	吹付けコンクリート(N		配合毎に1回	
	ATM)	コンクリートの圧縮強度試験	[試験実施中]	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体
				が、当該現場の供試体
				であることが確認できる
		スランプ試験	口所に亦ルが到められた担人	もの
		空気量測定	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]	
		工八重闪元		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合	
			[試験実施中]	
		마는다나나 나이 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그	しい ウェ 松 エ 目 4 の 一分 フェ・ロー	
		吹付けコンクリートの初期 強度	トンネル施工長40mごとに1回	
		<u> </u>		
	L	<u> </u> ~~~ 中略 ~	L ∼~∼	I
<u>34</u>	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜	
		土の一軸圧縮試験	[試験実施中] 材質毎に1回	
		- 1-マン 平田/ユー州日 戸へ樹木	<u> </u>	
<u>38</u>	砂防ソイルセメント(転	ふるい分け試験	1回/1材料	
	圧タイプ)	(粒度試験)	[試験実施中]	
		<u>含水比試験</u> 現場密度の測定		
		<u> </u>		
		六価クロム溶出試験		
<u>39</u>	砂防ソイルセメント(流	含水率試験	1施工箇所または	
	動タイプ)	密度試験(セメントミルク密度)	材料毎に1回	
		<u> </u>	1施工箇所1回 1施工箇所または	
			材料毎に1回	
		六価クロム溶出試験	1回/1材料	
			[試験実施中]	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

亚口	工任	, -	写真管理項目		松田
番号	工種	撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	摘要
20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]	<u>不要</u>	
21	道路土工 (施工)	現場密度の測定 プルーフローリング	土質毎に1回 [試験実施中] 工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験 現場CBR試験	土質毎に1回 [試験実施中]		
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	<u>不要</u>	
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]		
		たわみ量	プルーフローリングの不良個所 について実施 [試験実施中]		
	•	$\sim\sim\sim$	中略 ~~~		
25	吹付けコンクリート (NATM)	塩化物総量規制コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]		圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		スランプ試験 空気量測定 コアによる強度試験	品質に変化が認められた 場合 [試験実施中] 品質に異常が認められた 場合 [試験実施中]	不要	「「ス・4年前の く C・2 の 0 v)

【第1編 共通編】

L AD	一种	<i></i>	迪 林	m) ⊿				
編	章	節	条	枝	工 種		写真管理項目	摘要
ηνΉΗ	平	니지	木	番	上 1里	撮影項目	撮影頻度[時期]	1向 女
1 共通編	2 土 工	3河川・	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	
April 1		海岸・砂				法長 ※右のいずれか で撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕	
		防土工					「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)土工編 多点 計測技術(面管理の場合)」によ る場合は1工事1回 (掘削後)	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来 形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが 必要な場合のみ)がわかるように撮影
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 土工編多点計測技術(面管理の場合)における空中写真測量(UAV)に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	
1 共通編	2 土 工	3河川・海	3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 (巻出し時) 「TS・GNSSを用いた盛土の	
		岸・砂防					締固め管理要領」における「締 固め層厚分布図」を提出する場 合は写真不要	
		土工				締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎 に1回 〔締固め時〕	
						法長 <mark>幅</mark> ※右のいずれか で撮影する	200m又は1施工箇所に1回 (施工後)	
							「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)土工編 多点 計測技術(面管理の場合)」によ る場合は1工事1回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来 形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが 必要な場合のみ)がわかるように撮影
							「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)土工編 多点 計測技術(面管理の場合)」に 基づき写真測量に用いた画像 を納品する場合には、写真管理 に代えることが出来る。	

【第1編 共通編】

何	章	節	条	枝	工種		写真管理項目		松田									
編	早	即	采	番		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要									
1 共通編	2 士 工	3 河川・	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>										
		海岸・砂防土工	<u> </u>				法長 ※右のいずれか で撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 [掘削後]										
							「TSを用いた出来形管理要領 (土工偏)」による 1工事1回 [掘削後]		・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形 計測対象点上のプリズム の設置状況がわかるよう に撮影									
1 共通編	2 土 工	3河川・	3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>										
		海岸・砂													締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎 に1回 〔締固め時〕		
		防土工				法長 ※右のいずれか で撮影する	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕											
							「 <u>TSを用いた出来形管理要領</u> (土工偏)」による 1工事1回 [掘削後]		・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形 計測対象点上のプリズム の設置状況がわかるよう に撮影									

				枝		_		写真管理項目	
編	章	節	条	番	工工程	重	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
1 共通編	2 土 工	4 道路土工	2		掘削工		土質等の判別 法長 ※右のいずれか	地質が変わる毎に1回 [掘削中] 200m又は1施工箇所に1回 [掘削後]	
							で撮影する	「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)土工編 多点 計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事1回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来 形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが 必要な場合のみ) がわかるように撮影
								「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案) 土工編 多点 計測技術(面管理の場合)」に 基づき写真測量に用いた画像 を納品する場合には、写真管理 に代えることが出来る。	
1 共通編	2 土 工	4 道路土工	3 4		路体盛土工路床盛土工		巻出し厚	200mに1回 [巻出し時] 「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」における「締 固め層厚分布図」を提出する場 合は写真不要	
							締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎 に1回 [締固め時]	
							法長 <mark>幅</mark> ※右のいずれか で撮影する	200m又は1施工箇所に1回 [掘削後]	
								「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案) 土工編 多点 計測技術(面管理の場合)」によ る場合は1工事1回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来 形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが 必要な場合のみ) がわか るように撮影
								「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案) 土工編 多点 計測技術(面管理の場合)」に 基づき写真測量に用いた画像 を納品する場合には、写真管理 に代えることが出来る。	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

編	章	節	条	枝	工		写真管理項目		
лунн	平	川	未	番	工. 作	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要
1 共通編	2 ± I	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別 法長 <mark>幅</mark> ※右のいずれか で撮影する	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕 200m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
							「TSを用いた出来形管理要領 (土工偏)」による 1工事1回 〔掘削後〕		・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況がわかるように撮影
1 共通編	2 土 工	4 道路土工	3 4		路体盛土工路床盛土工	巻出し厚 締固め状況 法長 ※右のいずれか で撮影する	200mに1回 (巻出し時) 転圧機械又は地質が変わる毎 に1回 〔締固め時〕 200m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
							「TSを用いた出来形管理要領 (土工偏)」による 1工事1回 〔掘削後〕		・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形 計測対象点上のプリズム の設置状況がわかるよう に撮影

【第3編 土木工事共通編】

【先	の神画		<u> </u>	-尹:	共通編】			
編	宀	節	条	枝	工 種		写真管理項目	摘要
ири	+	114	/	番	1#	撮影項目	撮影頻度[時期]	IM 女
3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	8	2	路側防護柵工(ガードケーブル)	※基礎幅※基礎延長ケーブル取付高	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合) [施工後] 1施工箇所に1回 [施工後]	
						~~~ 中略 ~		
3 土	2	4 基	6		深礎工	根入長	全数量 〔掘削後〕	
木工	般施	避 礎 工				偏心量 数量、 <mark>基礎径</mark> ライナープレート	全数量 〔施工後〕 1施工箇所に1回	
事共	工					設置状況	〔掘削後〕	
通編						土質 鉄筋組立状況	土質の変わる毎に1回 [掘削中] 全数量 〔組立後〕	
3	2	6	7	1	アスファルト舗装工(下層	~~~ 中略 ~ 敷均し厚さ	~~ 各層毎400mに1回	
土木	般	般	·	1	路盤工)	転圧状況	[施工中]	
工事共	施工	舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
通編		1				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い	
							た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場	
							合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い	
							た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場	
							合)」による場合は各層毎1工事 に1回	
							<u>[整正後]</u>	
3 土 士	2 —	6 一 ^{前几}	7	2	アスファルト舗装工(上層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
木工事	般施工	般舗装			粒度調整路盤工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
共通編		工				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
/PHH							ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工	
							編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1	
							工事に1回[整正後]	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い	
							た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場	
							合) による場合は各層毎1工事 に1回 [整正後]	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

# 【第3編 土木工事共通編】

第	3編	土	不工	- 争:	共通編】				
編	章	節	条	枝	工種		写真管理項目		摘要
形冊	早	即	米	番	上	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘 安
3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	8	2	路側防護柵工(ガードケーブル)	<ul><li>※基礎幅</li><li>※基礎高さ</li><li>※配筋状況</li><li>ケーブル取付高</li></ul>	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合) [施工後] 1施工箇所に1回 [施工後]	<u>不要</u>	
						~~~ 中	略 ~~~		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	6		深礎工	根入長 偏心量 数量 ライナープレート 設置状況 土質 鉄筋組立状況	全数量 [掘削後] 全数量 [施工後] 1施工箇所に1回 [掘削後] 土質の変わる毎に1回 [掘削中] 全数量 [組立後]	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
						~~~ 中			
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	<ul><li>敷均し厚さ 転圧状況</li><li>整正状況</li><li>摩正状況</li><li>厚さ</li><li>幅</li></ul>	各層毎400mに1回 [施工中] 各層毎400mに1回 [整正後] 各層毎400mに1回 <u>繁正後</u> ] 各層毎200mに1回 <u>「整正後</u> ] 各層毎80mに1回 「整正後]	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	7	2	アスファルト舗装工(上層 路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 [施工中] 各層毎400mに1回 [整正後] 各層毎200mに1回 [整正後] 各層毎80mに1回 〔整正後]	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	

				枝			写真管理項目	
編	章	節	条	番	工  種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土 木 工	2 一般施	6 一般舗	7	3	アスファルト舗装工(上層 路盤工) セメント(石灰)安定処理 エ	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回	
事共通編	I	装工				厚さ	「整正後」 1,000㎡に1回 「整正後」 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回「整正後」  各層毎80mに1回 「整正後」 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回「整正後」	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	7	4	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 幅	各層毎400mに1回 「施工中」 各層毎400mに1回 (整正後) 各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工(基層工)	整正状況 タックコート、 プライムコート 幅	400mに1回 (整正後) 各層毎に1回 (散布時) 各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 [整正後]	

# 神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

何	章	節	条	枝	工種		写真管理項目		· 本 · 田 ·
編	早	即	采	番	工  種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要
3 土 木	2 一 般	6 一般	7	3	アスファルト舗装工(上 層路盤工) セメント(石灰)安定処	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
工事共	施工	舗装工			理工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
通編						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 木	2 一 般	6 一般	7	4	アスファルト舗装工(加 熱アスファルト安定処理 工)		各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
工事共	施工	舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
通編						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 木	2 一 般	6 一般	7	5	アスファルト舗装工(基 層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
工事共	施工	舗装工				タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
通編						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		

編	章	節	条	枝	工種		写真管理項目	佐   田
形冊	早	則	来	番	上、性	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土 木	2 一 般	6 一般	8	1	半たわみ性舗装工(下層 路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
工事共	施工	舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
光通編		Т.				厚さ	各層毎200mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 [整正後]	
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 【整正後】	
3 土 木	2 一般;	6 一般	8	2	半たわみ性舗装工(上層 路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
工事共	施工	舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
通編						厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 [整正後]	
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 【整正後】	

#### 神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

編	章	節	条	枝	工工種		写真管理項目		摘要
形抽	早	川	米	番	上 性	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	简 安 ————————————————————————————————————
3 土 木	2 一 般	6 一般	8	1	半たわみ性舗装工(下 層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
工事	施工	舗装				整正状况	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
共通編		工				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 木	2 一 般	6 一 般	8	2	半たわみ性舗装工(上 層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
工事共	施工	舗装工				整正状况	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
通編						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		

<b>/</b> ≕	75	ArA-	4	枝	- Æ		写真管理項目	144 AH
編	章	節	条	番	工  種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土 木	2 一 般	6 一般	8	3	半たわみ性舗装工(上層 路盤工) セメント(石灰)安定処理	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
工事共	施工	舗装工			I	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
通編						厚さ	200mに1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は写真不 要 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 【整正後】	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 〔整正後〕	
3 土木工	2 一般蜘	6一般は	8	4	半たわみ性舗装工(加熱 アスファルト安定処理工)	転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
事共	施工	舗装工				整正状况	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
通編						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)による場合は各層毎1工事 に1回 [整正後]	

# 神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

何	375	kk	Ø	枝	T 14		写真管理項目		₩ <b>.</b> ##
編	章	節	条	番	工  種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要
3 土木工事共通編	2一般施工	6 一般舗装工	8	3	半たわみ性舗装工(上 層路盤工) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 [施工中] 各層毎400mに1回 [整正後] 200mに1回 [整正後] ※コアを採取した場合は写真 不要 各層毎80mに1回 [整正後]	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	4	半たわみ性舗装工(加 熱アスファルト安定処理 工)		各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	

				枝			写真管理項目	
編	章	節	条	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土木工事共通	2 一般施工	6一般舗装工	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 厚さ	各層毎400mに1回 (施工中) 各層毎400mに1回 (整正後) 各層毎200mに1回	
編						<i>)</i> +C	(整正後) ただし、「3次元計測技術を用いただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回	
						幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	
3 土木工事:	2一般施工	6一般舗装	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況	各層毎400mに1回 (施工中) 各層毎400mに1回 (整正後)	
共通編		工				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	

## 神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

編	章	節	条	枝	工		写真管理項目		摘 要
邢	早	即	釆	番	上	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘 安
3 土 木	2 一 般	6 一般	9	1	排水性舗装工(下層路 盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
工事共	施工	舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
通編						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 木	2 一 般	6 一 般	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> 各1枚	
工事共	施工	舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
通編						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		

6-	:	ArA-	<i>b</i>	枝	T 15		写真管理項目	letr and
編	章	節	条	番	工  種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 士 木 工	一般施	6一般舗は	9	3	排水性舗装工(上層路盤 工) セメント(石灰)安定処理 工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回	
事共通編	: !	装工				厚さ	[整正後] 各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いたし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]	
						幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工、 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 (整正後)	
3 土木工事共	一般施工	6一般舗装工	9	4	排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況	各層毎400mに1回 [施工中] 各層毎400mに1回 [整正後]	
編						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	

## 神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

<b>∜</b> ≓	章	AA:	条	枝	丁 毎		写真管理項目		佐   田
編	早	節	采	番	工  種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要
3 土木工事共通	2 一般施工	6一般舗装工	9	3	盤工) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
編						厚さ 幅	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	9	4	排水性舗装工(加熱ア スファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 幅	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	

				枝			写真管理項目	
編	章	節	条	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土 木	2 一 般	6 一 般	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
工事共	施工	舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
通編						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 「整正後」 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	
3 土木工事	2 一般施工	6一般舗装	10	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
共通編	1	工				タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						~~~ 中略 ~	~~	
3 土木工事共活	2 一般施工	6一般舗装工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処 理工)		各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕	
通編						幅	各層毎80mに1回 「整正後」 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

/=	₩:	ArA-	Æ	枝	T 14		写真管理項目		<i>b</i> r ==
編	章	節	条	番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	10		透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎200mに1回 〔整正後〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	10	2	透水性舗装工表層工	整正状況 タックコート、 プライムコート <u>平坦性</u>	400mに1回 〔整正後〕 各層毎に1回 〔散布時〕 1工事1回〔実施中〕	代表箇所 各1枚	

~~~ 中略 ~~~

=	3 上 卞	2 一 般	6 一 般	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処 理工)		各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
4	上事	施工	舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
	通扁						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		

/=	ntr:	h-h-	kr	枝	15		写真管理項目	letr THE
編	章	節	条	番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土木工事共	2 一般施工	6一般舗装工	12	1	コンクリート舗装工(下層 路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況	各層毎400mに1回 (施工中) 各層毎400mに1回 (整正後)	
A						厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 【整正後】	
						幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	
3 土 木	2 一 般	6 一 般	12	2	コンクリート舗装工(粒度 調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況	各層毎400mに1回 [施工中] 各層毎400mに1回	
工事共通編	施工	舗装工				厚さ	【整正後】 各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 【整正後】	
						幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

何	章	松	条	枝	工 種		写真管理項目		松 邢
編	早	節	采	番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘 要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	12	1	コンクリート舗装工(下 層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 (施工中) 各層毎400mに1回 (整正後) 各層毎200mに1回 (整正後) 各層毎80mに1回 (整正後)	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	12	2	コンクリート舗装工(粒 度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 [施工中] 各層毎400mに1回 [整正後] 各層毎200mに1回 [整正後] 各層毎80mに1回 [整正後]	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	

				枝			写真管理項目	
編	章	節	条	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理 工)	敷均し厚さ 転圧状況 整	各層毎400mに1回 (施工中) 各層毎400mに1回 (整正後) 1,000㎡に1回 (整正後) ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 (整正後)	
							[整正後] ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工(アス ファルト中間層)	整正状況 タックコート、 プライムコート 幅	400mに1回 〔整正後〕 各層毎に1回 (散布時〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート スリップバー、 タイバー 寸法、 位置 鉄網 寸法 位型 埋性 平さ	各層毎に1回 (散布時) 80mに1回 (据付後) 80mに1回 (据付後) 1工事1回(実施中) 各層毎200mに1回 (型枠据付後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 (整正後)	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

何	- 	節	条	枝	T #		写真管理項目		松 亜
編	章	即	采	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 [施工中] 各層毎400mに1回 [整正後] 1,000㎡に1回 [整正後] ※コアを採取した場合は写真 不要 各層毎80mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工(アスファルト中間層)	整正状況 タックコート、 プライムコート 幅	400mに1回 〔整正後〕 各層毎に1回 〔散布時〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート スリップバー、 タイバー寸法、 鉄網寸法 位置 平坦性 厚さ 目地段差	各層毎に1回 〔散布時〕 80mに1回 〔据付後〕 80mに1回 〔据付後〕 1工事1回〔実施中〕 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 1工事に1回	代表箇所 各1枚	

編	章	節	条	枝	工種		写真管理項目	摘要
小州田	平	비치	木	番	工。 1里	撮影項目	撮影頻度[時期]	100 女
3 土 木 工	2 一般施	6 一般舗	12	6	コンクリート舗装工(転圧 コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕	
事共通編	工	装工				厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用い ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 [整正後]	
						幅	各層毎80mに1回 「整正後」 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	
3 土 木 工	2 一般施	6 一般舗	12	7	コンクリート舗装工(転圧 コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕	
事共通編	Ī	装工				厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 「整正後」	
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 [整正後]	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

編	章	節	条	枝	工 種		写真管理項目		摘要
形冊	早	則	采	番	上 生	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘 安
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	12	6	コンクリート舗装工(転圧 コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 「施工中」 各層毎400mに1回 「整正後」 各層毎200mに1回 「 <u>整正後</u> 」 各層毎80mに1回 「整正後]	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	7	コンクリート舗装工(転圧 コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 (施工中) 各層毎400mに1回 (整正後) 各層毎200mに1回 (整正後) 各層毎80mに1回 (整正後)	<u>代表簡所</u> <u>各1枚</u>	

何	**	<i>h</i> .	Æ	枝	T 毎		写真管理項目	佐 田
編	章	節	条	番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土木工事共	2一般施工	6一般舗装工	12	8	コンクリート舗装工(転圧 コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定 処理工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況 厚さ	各層毎400mに1回 [施工中] 各層毎400mに1回 [整正後] 1,000㎡に1回	
通編		4					(整正後) ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 「整正後」	
						幅	各層毎80mに1回 「整正後」 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	
3 土木工事	2一般施工	6一般舗装	12	9	コンクリート舗装工(転圧 コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況 タックコート、 プライムコート	400mに1回 (整正後) 各層毎に1回 (散布時)	
# 共通編	4	% Н				幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)による場合は各層毎1工事 に1回 (整正後)	
3 土 木	2 一般:	6 一般:	12	10	コンクリート舗装工(転圧 コンクリート版工)	転圧状況	400mに1回 [施工中]	
工事共通編	施工	舗装工				厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 〔整正後〕	
						平坦性	1工事1回〔実施中〕	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

編	章	節	条	枝	工種		写真管理項目		摘要
邢	早	即	釆	番	上 作	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘 安
3 土	2	6	12	8	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
木工事	般施工	般舗装			セメント(石灰・瀝青)安定処理工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
# 共通編	1	五				厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 木	2 一般	6 一般	12	9	コンクリート舗装工(転 圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
工事共	施工	舗装工			7 - 7 7 / 1 113/4	タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
通編		4				幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 木	2 一 般	6 一般	12	10	コンクリート舗装工(転 圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
八工事共	施工	舗装工				厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕		
共通		上				平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

				枝			写真管理項目	
編	章	節	条	番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土 木	2 —	6 一	<u>12</u>	<u>11</u>	コンクリート舗装工(連続鉄筋コンクリート舗装工)	<u>石粉、</u> プライムコート	各層毎に1回 [散布時]	
工事	般施工	般舗装				鉄筋寸法、位置	80mに1回 [据付後]	
共通編		エ				<u>横膨張目地部</u> ダウェルバー 寸法、位置	1施工箇所に1回 [据付後]	
						<u>縦そり突合せ</u> <u>目地部・縦そり</u> ダミー目地部タ イバー寸法、位 置	80mに1回 <u>「据付後」</u>	
						<u>平坦性</u>	1工事に1回〔実施中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 【型枠据付後】 【スリップフォーム工法の 場合は打設前後】 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 【整正後】	
						<u>目地段差</u>	1工事に1回	
3 土 木	2 一 般	6 一 般	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
工事	施工	舗装				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
共通編		エ				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 「整正後」	
3 土 ±	2 一 ^{約几}	6 一	13	2	薄層カラー舗装工(上層 路盤工) ************************************	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
木工事	般施工	般舗装			粒度調整路盤工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
共通編		工				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
APHD						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 [整正後]	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

∕ ⊟		節	条	枝	T 45		写真管理項目		摘要
編	章	即	采	番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要
3 土	2	6 —	13	1	薄層カラー舗装工(下 層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
木工事	般施工	般舗装				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
共通編		工				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
利相						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 士	2 —	6 —	13	2	薄層カラー舗装工(上 層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> 各1枚	
木工事	般施工	般舗装			粒度調整路盤工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
共通編		エ				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
луны						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		

				枝			写真管理項目	
編	章	節	条	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土	2	6	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
木工事	般施工	般舗装			セメント(石灰)安定処理工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
共通編	1	工				厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不 要	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 <u>「整正後</u> 」	
3 土	2	6	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
木工事	般施工	般舗装				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
共通編		工				幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)による場合は各層毎1工事 に1回 [整正後]	
3 土 木	2 一 般	6 一 般	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
工事	施工	舗装				タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
共通編		工				厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕	
л уни						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 <u>「整正後」</u>	
3 土 木	2 一 般	6 一 般	14	1	ブロック舗装工(下層路 盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
工事	施工	舗装				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
共通編		工				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)による場合は各層毎1工事 に1回 <u>「整正後」</u>	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

√ =i		AA:	Ø	枝	T #		写真管理項目		松田
編	章	節	条	番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要
3 土 士	2	6 一般	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
木工事	般施工	施 舗 工 装			セメント(石灰)安定処 理工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
共通編	共 工 工 通				厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 木	2 —	6 一般	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
工事	般施工	舗装			工)	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
共通編		工				幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 ±	2 —	6 —	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
木工事	般施工	般舗装				タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
共通編		エ				厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕		
形冊						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 木	2 一 般	6 一般	14	1	ブロック舗装工(下層路 盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
工事	施工	舗装				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
共通編		工				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		

							and the felt will will in	
編	章	節	条	枝番	工 種	担心不口	写真管理項目	摘要
	0	0			3 2.44/4-7 / 1 = 0.05	撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土 木	2 一 般	6 一 般	14	2	ブロック舗装工(上層路 盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
工事	施工	舗装			12/X W11E-F1 III	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
共通編		工				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 [整正後]	
3 土	2	6 —	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	
木工	般施	般舗			セメント(石灰)安定処 理工			
事共	工	装工			性上	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
通編						厚さ	各層毎200mに1回	
AAIIO							〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不 要	
						幅	各層毎80mに1回	
							(整正後) ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事	
							<u>に1回</u> <u>〔整正後〕</u>	
3 土 木	2 一 般	6 一 般	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処 理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 (施工中)	
工事共	施工	舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
通編						幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は各層毎1工事 に1回 【整正後】	
						~~~ 中略 ~		
3	2	6	15		路面切削工	幅	1施工箇所に1回	
土木	般	般				厚さ <u>(基準高)</u>	〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用い	
工事	施工	舗装					た出来形管理要領(案)舗装工 編 多点計測技術(面管理の場	
共		爰 工					合)」による場合は各層毎1工事	
通編							<u>に1回</u> <u>「整正後〕</u>	
					!			

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

<b>⁄</b> ≓	afra	A-A-	条	枝	·		写真管理項目		kt ===
編	章	節	未	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要
土一木工源工	2 —	6 一 般	14	2	ブロック舗装工(上層路 盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
	施加工	舗装				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
共通編		工				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 木	2 一 般	6 一 般	14	3	ブロック舗装工(上層路 盤工) セメント(石灰)安定処	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
水工事共通編 工	舗装工			理工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土 木	2 一 般	6 一 般	14		ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
工事共	施工	舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
通編						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
						~~~	<u></u> 中略 ~~~		
3 土木工事共通	2 一般施工	6一般舗装工	15		路面切削工	幅厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	

				枝			写真管理項目	
編	章	節	条	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
3 土木工事:	2 一般施工	7 地盤改良	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイルエ)	位置•間隔 杭径	1施工箇所に1回 〔打込後〕	
共通編		工				深度	1施工箇所に1回 〔打込前後〕	
							ただし、(スラリー攪拌工)において「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)固結工 (スラリー撹拌工)編」により出来 形管理資料を提出する場合は、 出来形管理に関わる写真管理 項目を省略できる。	
3 土木工事共通編	2一般施工	7 地盤改良工	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ幅	1,000m3~4,000m3につき1 回、又は施工延長40m(測点 間隔25mの場合は50m)につき1 回。 「施工厚さ 施工中」 「幅 施工後」 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)表層安 定処理等・固結工(中層混合処 理)編」により出来形管理資料を 提出する場合は、出来形管理 に関わる写真管理項目を省略 できる。	
						~~~ 中略 ~	~~	
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	22		法面吹付工		第3編2- <u>14</u> - <u>3</u> 吹付工に準じる	
						~~~ 中略 ~	~~	
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、幅、 高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所に1回 [施工後] ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)法面工 編」に基づき写真測量に用いた 画像を納品する場合には、写真 管理に代えることが出来る。	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

							Ī			
編	章	節	条	枝	工	種		写真管理項目	1	摘要
	·			番			撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	*** 2*
3 土木工事共通編	2一般施工	7 地盤改良工	9		固結工 (粉末噴射攪: (高圧噴射攪: (スラリー攪拌 (生石灰パイ)	拌工) 工)	位置·間隔 杭径 <mark>深度</mark> 深度	1施工箇所に1回 〔打込後〕 1施工箇所に1回 〔打込前後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	22		法面吹付工		~~~ 中	略 ~~~ 第3編2- <u>3</u> - <u>6</u> 吹付工に準じる		
~~ 中略 ~~~										
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	4	1	法枠工 (現場打法枠: (現場吹付法 ⁾		法長、幅、 高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	

【第8編 道路編】

	3 O 117	II) ~	ユルロイ	11117 2				
編	章	節	条	枝	工種		写真管理項目	摘要
ЛУННЗ	7	1/1	*	番	工工工	撮影項目	撮影頻度[時期]	加女
8 道路編	3橋梁下部	6橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)構造物 工編(試行)」により出来形管理 資料を提出する場合は、出来形 計測状況を1工事1回	
8道路編	3橋梁下部	7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 電 大 敷 高 大 数 長 数 長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)構造物工編(試行)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	
8 道路編	3橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 (型枠取外し後) ただし、「3次元計測技術を用いただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)構造物工編(試行)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	

神奈川県 土木工事写真管理基準(平成28年4月版)

【第8編 道路編】

編	章	節	条	枝	工 種		写真管理項目		摘 要
形冊	파	即	*	番	上 1里	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘 安
8道路編	3橋梁下部	6橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 野端長	全数量 〔型枠取外し後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
8道路編	3橋梁下部	7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	
8道路編	3橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	<u>代表箇所</u> <u>各1枚</u>	

【その他】

⁄ ₩	章	ArA-	Ø	枝	T. 種		写真管理項目	kt æ
編	早	節	条	番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要
その他					街路樹剪定	出来ばえ	街路樹50本1回、グリーンベルト 100mに1回 [施工前後]	
					街路樹消毒、施肥	出来ばえ	街路樹50本1回、グリーンベルト 100mに1回 [施工中]	
					街路樹雪囲	出来ばえ	適宜 [施工後]	
					排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回 〔施工中〕	
					凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中に1回 〔施工中〕	
						材料使用量	全数量 [施工前後]	
					河川除草	出来ばえ	1kmに1回(1回刈毎) 〔施工前後〕	
					<u>応急処置</u>	処理の状況	<u>その都度</u> [施工前後]	

【その他】

何	章	節	条	枝	工、種		写真管理項目		松田
編	早	即	采	番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	撮影頻度	摘要
その他					街路樹剪力	出来ばえ	街路樹50本1回、グリーンベルト 100mに1回 〔施工前後〕	<u>適宜</u>	
					街路樹消毒、施肥	出来ばえ	街路樹50本1回、グリーンベルト 100mに1回 〔施工中〕	適宜	
					街路樹雪囲	出来ばえ	適宜 〔施工後〕	<u>適宜</u>	
					排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回 〔施工中〕	<u>適宜</u>	
					凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中に1回 〔施工中〕	適宜	
						材料使用量	全数量 〔施工前後〕	<u>適宜</u>	
					河川除草	出来ばえ	1kmに1回(1回刈毎) 「施工前後〕	<u>適宜</u>	